

Make New Value

株主のみなさまへ

第77期 第2四半期(中間)報告書

平成28年4月1日～平成28年9月30日



Make New Value その先へ

都築電気株式会社

証券コード：8157



ツズキグループは 「人と知と技術」を未来につなぎ、豊かな世界を 開拓し、社会課題の解決に挑戦してまいります。 Make New Value その先へ

代表取締役社長
日浦 秀樹

株主のみなさまにおかれましては、当社グループの事業に格別のご理解とご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、当社グループの第77期第2四半期（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の決算が終了しましたので、ここに事業の概況と決算の状況につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、個人消費の持ち直しや政府の経済対策効果への期待感が下支えとなり、力強さは欠きながらも緩やかな回復基調を維持しております。しかし、円高傾向や世界的な経済の減速懸念、インバウンド消費の頭打ち感の台頭等を背景に、企業収益下振れへの警戒感は依然根強く、不透明な状況が続いております。

情報ネットワークサービス産業においては、内需の低迷が長期化するなど厳しい状況が続くものの、クラウドやビッグデータ、IoT^{*1}、AI^{*2}等の技術のビジネス分野への利活用拡大が期待されております。

このような環境のもと、当社グループはそれらのニーズを捉えるべく、システム開発に係る品質向上施策を実施するとともに研究開発等将来に向けた投資を積極的に行い、グループ各社それぞれの強みを生かした各種ソリューションサービスを積極的に推進しました結果、期初予想に対して売上については未達となるも、利益については予想を上回ることができました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高487億4百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益4億42百万円（同1.0%増）、経常利益4億37百万円（同5.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億27百万円（同477.0%増）を計上することができました。

なお、中間配当金については、1株につき7.5円とさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

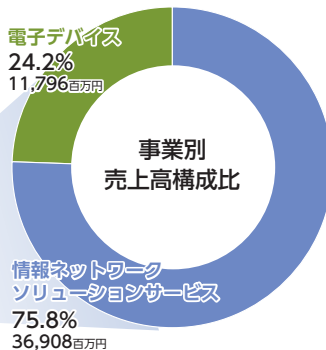
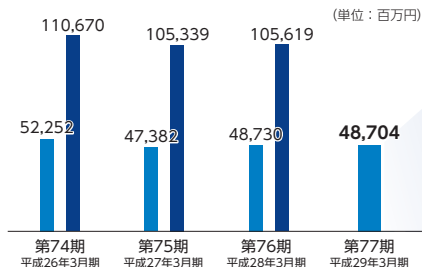
FINANCIAL HIGHLIGHTS

財務ハイライト

売上高

■第2四半期 ■通期

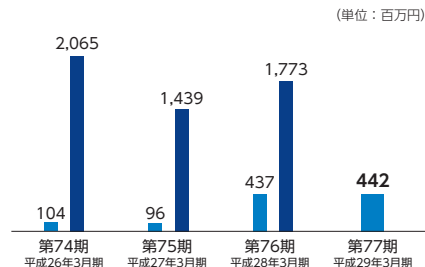
48,704百万円
(前年同期比0.1%減)



営業利益

■第2四半期 ■通期

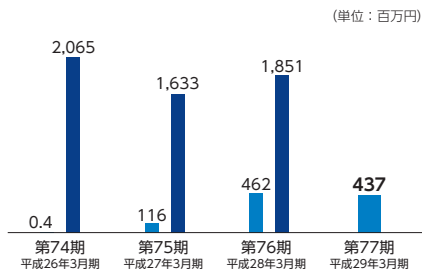
442百万円
(前年同期比1.0%増)



経常利益

■第2四半期 ■通期

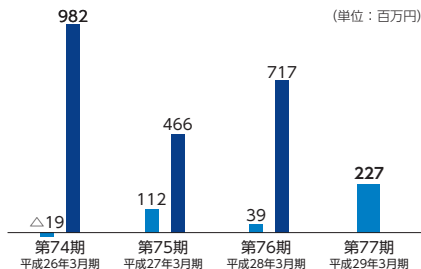
437百万円
(前年同期比5.5%減)



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

■第2四半期 ■通期

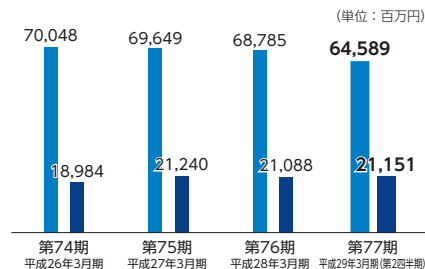
227百万円
(前年同期比477.0%増)



総資産・純資産

■総資産 ■純資産

総資産 **64,589**百万円
純資産 **21,151**百万円



平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

売上高

106,000百万円
(前期比0.4%増)

営業利益

1,800百万円
(前期比1.5%増)

経常利益

1,900百万円
(前期比2.6%増)

親会社株主に帰属する 当期純利益

1,100百万円
(前期比53.4%増)

1株当たり当期純利益

82.31円

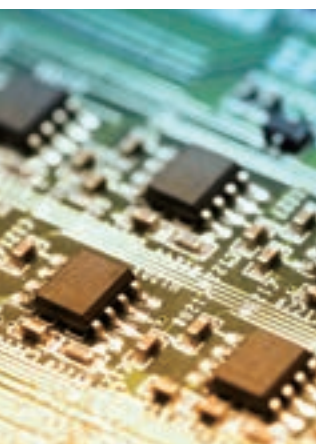
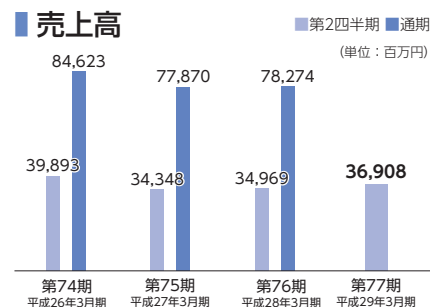


情報ネットワークソリューションサービス

サーバ、パソコン等の構築商談では、市場のコモディティ化により前年同期比で売上、利益とも下回りましたが、システムインテグレーションにおけるシステム開発は堅調に推移し、ネットワークインテグレーションにおけるユニファイドコミュニケーションシステムやコールセンターシステム構築ビジネスが大きく伸長しました。また、サービスビジネスについてはシステム運用サービスやLCMサービス、クラウドサービスを利用したワークスタイル変革ソリューションによりビジネス領域の拡大を図ったことで、売上、利益とも伸長しました。

業種別では公共、電力、鉄道、金融、製造等のお客さま向けにインフラの構築商談や各種ソリューションの提供と運用サービスを中心に推進いたしました。流通、製造、食品等のお客さま向けにはアプリケーション開発を中心としたソリューションビジネスおよびサービスビジネスを積極的に推進いたしました。

この結果、情報ネットワークソリューションサービスは売上高369億8百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益4億60百万円(同26.2%増)を計上することができました。

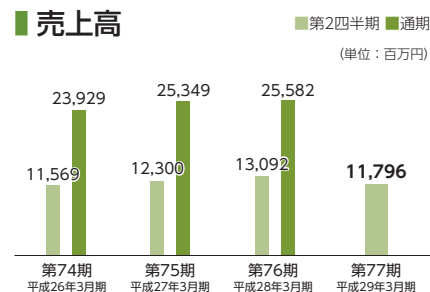


電子デバイス

半導体ビジネスは、中国の設備投資需要に回復が見られFA機器向けカスタムLSI・リレーが堅調に推移したものの、半導体メーカーの再編に伴う商流変更の影響によりマイコン・メモリが大きく減少しました。また、車載情報機器向けLCDは海外の採用車種の増加により堅調に推移しておりますが、好調だった前期の反動減等もあり、売上は減少しました。

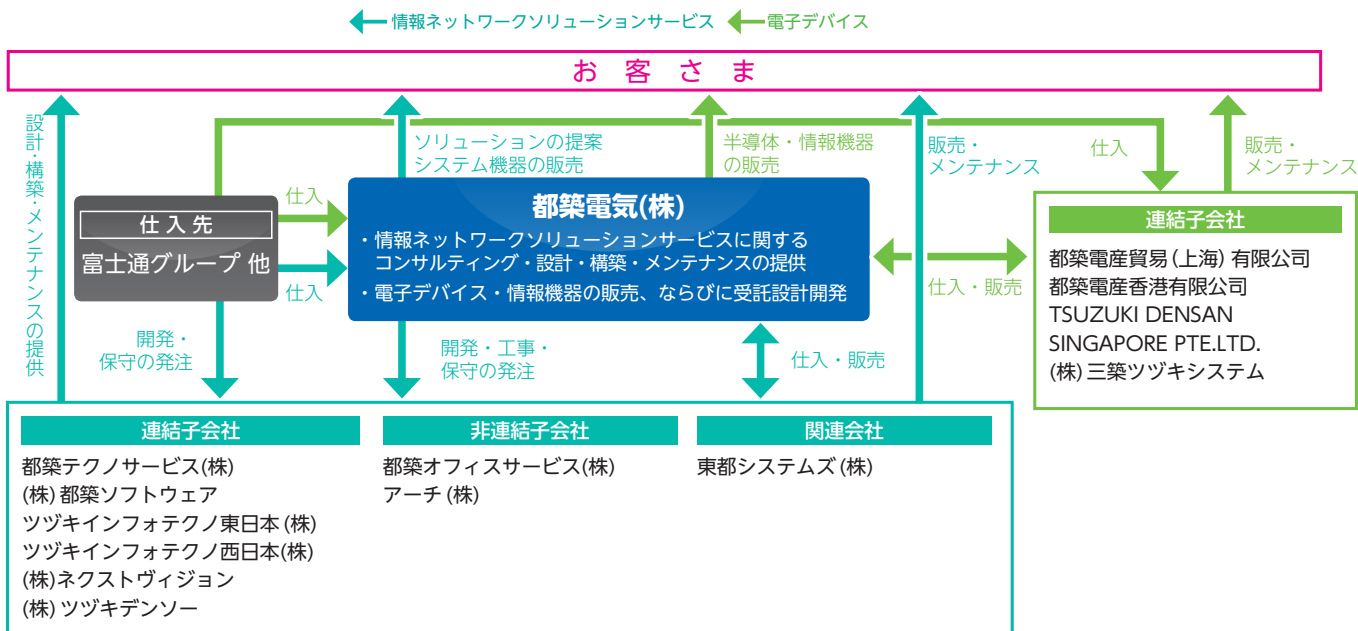
情報機器ビジネスは、産業機器向けHDDの主要顧客の買い替え需要が一巡したことにより売上が減少しました。

この結果、電子デバイスは売上高117億96百万円(前年同期比11.1%減)、営業損失27百万円(前年同期は67百万円の営業利益)となりました。



GROUP NETWORK

グループネットワーク



[連結子会社]

●都築テクノサービス株式会社

●株式会社都築ソフトウェア

●ツヅキインフォテックノ東日本株式会社

●ツヅキインフォテックノ西日本株式会社

●株式会社ネクストヴィジョン

●株式会社ツヅキデンソー

●都築電産貿易(上海) 有限公司

●都築電産香港有限公司

●TSUZUKI DENSAN SINGAPORE PTE.LTD.

●株式会社三築ツヅキシステム

[非連結子会社]

●都築オフィスサービス株式会社

●アーチ株式会社

[関連会社]

●東都システムズ株式会社

情報機器の修理・保守・販売/ネットワークの導入・運用管理

ソフトウェア開発/コンサルティング/各種パッケージ開発・販売

電気通信設備の工事・保守・修理・販売/空調設備の工事・保守・販売

電気通信設備の工事・保守・修理・販売

旅行業・観光業界向けソフトウェア開発/コンサルティング/旅行業パッケージの開発・販売

カーナビ/デジタコ/ドライブレコーダー等の車載情報機器・業務用無線機器の販売/取付/保守

半導体・電子部品・情報機器の販売

半導体・電子部品・情報機器の販売

半導体・電子部品・情報機器の販売

計測システム/計測機器・汎用電気機器・放射線測定機器等の販売/設置工事/保守

保険/印刷

ソフトウェアの開発・保守

ソフトウェア開発/通信機器工事・保守

これから先も社会から選ばれ続ける企業であるために

新経営理念と新タグライン・新ロゴマークを策定

2016年4月、新たに経営理念を策定し、併せて新タグライン・新ロゴマークを発表しました。当社グループがこれから先も選ばれ続ける企業であるために、これまで大事にしてきた精神を見つめ直し、当社のあるべき姿を明確にしています。

新経営理念

ビジョン
(実現したい社会・あるべき姿)

「人と知と技術」を未来につなぎ、
豊かな世界を開拓します。

ミッション
(ステークホルダーへの約束・使命)

未来を見据え、協働し、新価値創造に挑み続けます。

お客さまへの約束

お客さまと一緒に未来に向き合い、常に最適な技術・体制で、
真のパートナー企業として、ともに成長します。

社員への約束

多様性を大切に、社員の挑戦を支援し、働くことを楽しみ、
価値ある仕事を追求できる環境をつくり続けます。

ビジネスパートナーへの約束

多彩な強みと特性を掛け合わせ、シナジーを生み出すことで、
お互いの企業価値を向上させる関係を築きます。

7 Actions

① 向き合う

- ・お客さまに、お客さまの経営課題に
- ・環境、技術の変化に
- ・自分たちの志に

② 築く

- ・お客さまとの深く、長い信頼関係を
- ・多様な専門性をもった強いチームを
- ・意見を尊重するオープンな組織を

③ つなぐ

- ・経験、知恵、技術、情報を
- ・お客さま同士、社内外のネットワークを
- ・これまでと、これからを

④ 挑む

- ・最先端の技術、サービスに
- ・デジタルイノベーションに
- ・継続成長、自己実現に

⑤ 楽しむ

- ・挑戦すること、行動することを
- ・ともに未来を描くことを
- ・自分たちらしさを

⑥ 支援する

- ・新しい考え、挑戦を
- ・多様な価値観、働き方を
- ・切磋琢磨する仲間を

⑦ やり抜く

- ・歴史を紡いでいくことを
- ・価値創造から逃げずに
- ・全社一丸で

新タグライン

Make New Value その先へ

未来を見据えた新たな価値創造への強い決意を表明しています。また現状に満足することなく、常にその先を目指して挑戦し続けるという意志も表しています。

新ロゴマーク



経営理念に併せて、「TSUZUKI」のロゴマークも刷新しました。従来よりもシャープな書体と明るい色に、より軽やかに先進的なチャレンジを楽しみたいという思いを込めています。

バリュー
(価値観・行動指針)

「経営者・ビジョンに共感」において第1位

IT業界就職人気ランキングで上位にランクイン

2017年3月卒業予定の学生を対象にした、IT業界の新卒就職人気企業ランキング調査「日経コンピュータ×楽天みんなの就職活動日記」において、当社が前回50位から大幅にランクアップし33位に、独立系SI分野では第4位にランクインしました。

また、「経営者・ビジョンに共感」において第1位、そのほか主要な調査項目でも3位以内にランクインとなりました。採用活動において、学生が当社で働くイメージがわくように、現場社員との対話の機会を数多く設けるなどの取り組みが評価されたものと考えています。



当社新卒採用情報サイト

<http://www.tsuzuki.co.jp/recruit/>

社員の健康増進と企業内コミュニケーション促進に向けて

「ザ・コーポレートゲームズ東京2016アジアパシフィック」に参加

2016年11月5日～6日の2日間、東京湾岸エリアで開催された「ザ・コーポレートゲームズ東京2016アジアパシフィック」に昨年に引き続いて参加しました。野球やリレーマラソン、綱引きなど様々なスポーツ競技への参加を通じ、社員の健康増進や企業内コミュニケーションの促進を図ることができた充実した2日間となりました。



コーポレートゲームズとは？

1980年代末にイギリスのスポーツライフ社によって設立された国際スポーツフェスティバルです。

コーポレートゲームズはあらゆる団体が自由に参加できる、生活者のための市民参加型のイベントとして、世界30ヶ国60都市で開催されています。

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	第77期第2四半期 (平成28年9月30日現在)	第76期 (平成28年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	49,002	53,857
現金及び預金	16,349	15,110
受取手形及び売掛金	23,193	29,023
たな卸資産	7,047	7,466
繰延税金資産	1,083	1,068
その他	1,401	1,260
貸倒引当金	△71	△71
固定資産	15,587	14,927
有形固定資産	5,007	4,183
土地	2,223	2,223
その他	2,783	1,959
無形固定資産	1,785	1,947
投資その他の資産	8,794	8,797
投資有価証券	4,301	4,299
長期貸付金	101	104
繰延税金資産	2,776	2,736
長期預金	300	300
その他	1,684	1,728
貸倒引当金	△368	△371
資産合計	64,589	68,785

	第77期第2四半期 (平成28年9月30日現在)	第76期 (平成28年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	27,520	39,203
支払手形及び買掛金	13,095	17,080
短期借入金	6,274	7,415
1年以内に返済予定の長期借入金	487	6,629
リース債務	799	729
未払法人税等	312	293
賞与引当金	2,147	2,293
受注損失引当金	182	295
その他	4,220	4,467
固定負債	15,917	8,492
長期借入金	8,373	1,076
退職給付に係る負債	5,963	5,952
その他	1,579	1,464
負債合計	43,437	47,696
純資産の部		
株主資本	19,638	19,506
資本金	9,812	9,812
資本剰余金	3,760	3,760
利益剰余金	16,087	15,989
自己株式	△10,022	△10,056
その他の包括利益累計額	1,513	1,582
その他有価証券評価差額金	818	825
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△18	58
退職給付に係る調整累計額	712	698
純資産合計	21,151	21,088
負債純資産合計	64,589	68,785

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	第77期第2四半期 (平成28年4月1日～ 平成28年9月30日)	第76期第2四半期 (平成27年4月1日～ 平成27年9月30日)
✓ 売上高	48,704	48,730
売上原価	40,246	40,424
売上総利益	8,458	8,306
販売費及び一般管理費	8,015	7,868
✓ 営業利益	442	437
営業外収益	147	119
営業外費用	151	95
✓ 経常利益	437	462
特別利益	—	0
特別損失	89	345
税金等調整前四半期純利益	347	117
法人税等	120	78
四半期純利益	227	39
✓ 親会社株主に帰属する四半期純利益	227	39

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	第77期第2四半期 (平成28年4月1日～ 平成28年9月30日)	第76期第2四半期 (平成27年4月1日～ 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,327	△473
投資活動によるキャッシュ・フロー	△608	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△405	54
現金及び現金同等物に係る換算差額	△74	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,238	△601
現金及び現金同等物の期首残高	15,034	14,661
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,273	14,059

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

詳細な決算情報は当社ホームページIR情報をご覧ください。



<http://www.tsuzuki.co.jp/ir/>



財務諸表のポイント

✓ 売上高

情報ネットワークソリューションサービスにつきましてはシステム開発が堅調に推移するとともにサービスビジネスが伸長し売上が増加しました。電子デバイスにおいては半導体メーカーの再編の影響等により売上が減少しました。これらの結果、前年同期実績を若干下回る結果となりました。

✓ 営業利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

営業利益につきましては、研究開発投資を積極的に行ったこと等から販売費及び一般管理費が増加したものの、原価率が良化したことから前年同期実績を上回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期実績を大きく上回る結果となりました。

CORPORATE PROFILE

会社情報 (平成28年9月30日現在)

会社概要

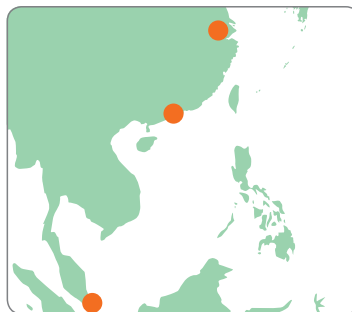
商号 都築電気株式会社
TSUZUKI DENKI CO., LTD.
本社 〒105-8665
東京都港区新橋六丁目19番15号
(東京美術倶楽部ビル)
創立 昭和7年5月1日
資本金 9,812,930,540円
従業員数 1,451名 (連結2,283名)

取締役および監査役

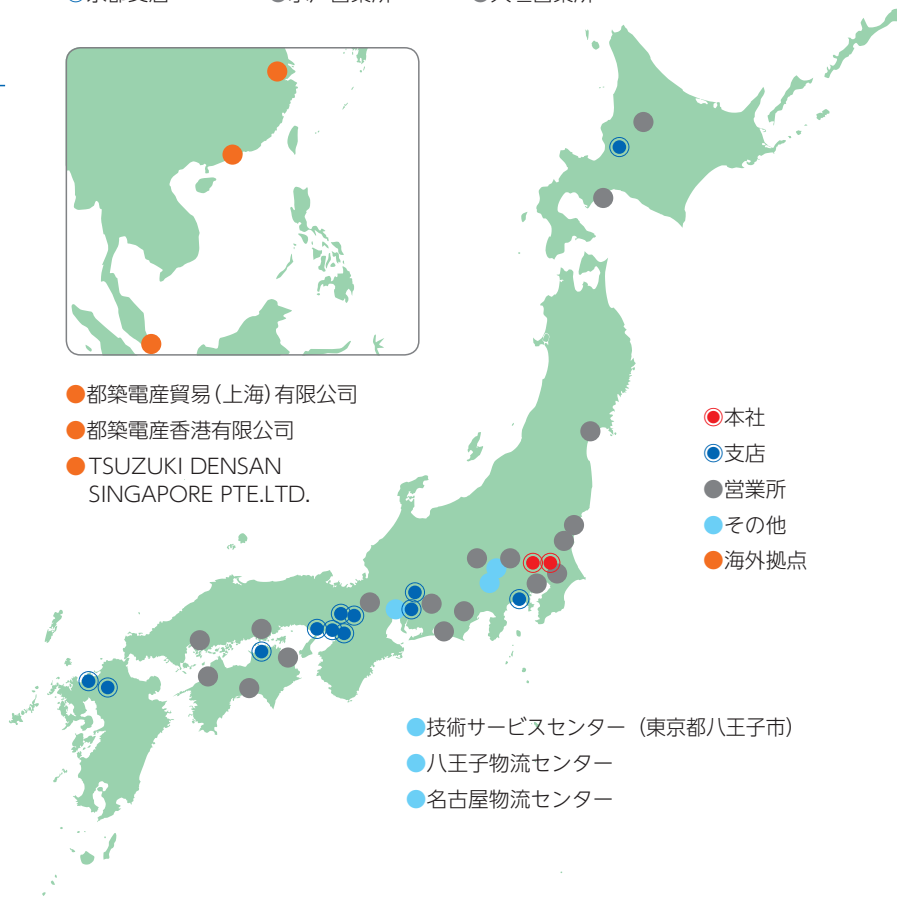
代表取締役社長	日浦 秀樹
取締役	吉井 一典
取締役	江森 勲
取締役	戸澤 正人
取締役 (社外)	北岡 俊治
取締役 (相談役)	安藤 始
取締役	志村 一弘
取締役	仲井 正人
取締役	尾山 和久
常勤監査役	水島 俊久
監査役 (社外)	穴戸 金二郎
監査役 (社外)	村島 俊宏
監査役 (社外)	小笠原 直

事業所

- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| ●本社 | ●京都東支店 | ●筑波営業所 | ●岡山営業所 |
| ●第二本社 | ●神戸支店 | ●北関東営業所 | ●広島営業所 |
| ●北海道支店 | ●高松支店 | ●千葉営業所 | ●徳島営業所 |
| ●神奈川支店 | ●九州支店 | ●川崎営業所 | ●松山営業所 |
| ●名古屋支店 | ●九州南支店 | ●甲府営業所 | ●高知営業所 |
| ●名古屋東支店 | ●旭川営業所 | ●静岡営業所 | |
| ●大阪支店 | ●室蘭営業所 | ●浜松営業所 | |
| ●大阪北支店 | ●東北営業所 | ●豊田営業所 | |
| ●京都支店 | ●水戸営業所 | ●大垣営業所 | |



- 都築電産貿易 (上海) 有限公司
- 都築電産香港有限公司
- TSUZUKI DENSAN SINGAPORE PTE.LTD.



STOCK INFORMATION

株式情報 (平成28年9月30日現在)

株式の状況

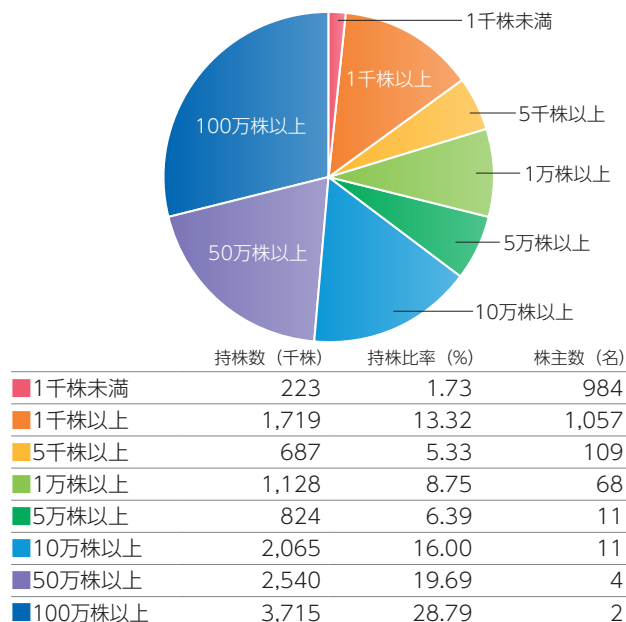
発行可能株式総数	98,920,000株
発行済株式の総数	25,677,894株
株主数	2,247名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
富士通株式会社	2,402	18.61
都築電気従業員持株会	1,313	10.18
扶桑電通株式会社	766	5.94
株式会社三菱東京UFJ銀行	591	4.59
株式会社みずほ銀行	591	4.59
株式会社三井住友銀行	591	4.58
平松裕将	200	1.55
HTホールディングス株式会社	200	1.55
丸三証券株式会社	192	1.49
三井住友信託銀行株式会社	189	1.46

(注) 自己株式12,771千株および従業員持株ESOP信託口481千株は、上記大株主から除いております。

所有者株式数別状況



(注) 自己株式12,771千株を控除して算出しております。

単元株式数変更のご案内

当社では、株式の流動性向上および投資家層の拡大を図るため、平成28年7月1日より、単元株式数を1,000株から100株に変更しました。これにより、当社の株式は証券市場において100株単位での売買が可能となりました。株主のみならず皆さまにおかれまして、一切のお手続きは不要ですので、念のため申し添えます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日
権利確定日	3月31日 (中間配当金は9月30日)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 電子公告
当社ホームページ
(<http://www.tsuzuki.co.jp/>) に掲載いたします。

当社ホームページのご紹介

ツヅキデンキ

検索

<http://www.tsuzuki.co.jp/>



ソリューション
&
製品一覧



会社情報



IR情報



当社のホームページでは、株主・投資家のみなさまに対しまして、企業情報や財務情報等を積極的に開示しております。また、最新のトピックスを随時更新し、当社およびグループ会社の事業活動の動向をご紹介しておりますので、ぜひアクセスいただきご覧下さい。



〒105-8665 東京都港区新橋六丁目19番15号（東京美術倶楽部ビル）
Tel.03-6833-7777 <http://www.tsuzuki.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。